

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①学校生活を通して「自分は成長できている」と感じている生徒が90%以上である。	・生徒一人ひとりに寄り添い、授業、学校行事及び部活動を活性化することで「明るく楽しく元気よく」学校生活を送り、将来の目標を明確にさせる。	B	A	A	自分が成長できていると実感していると答えた生徒は第1回79%から第2回86%と増加した。今後も学校生活の楽しさを実感させ、学習意欲の向上と良好な人間関係の育成に努めた。また、生徒会行事に主体的に参加していると答えた生徒は第1回93%から第2回86%に減少した。次年度は単段階から学年を超えた生徒の交流を図り、深い学びにつながるような学校行事計画を立案したい。	事情のある生徒たちを受け入れて、その生徒たちの社会的な自立に向けて、一人一人丁寧に指導を行っている。よって①②ともに80%を超えれば十分である。今後は、成長を実感できないような生徒や学校行事に主体的に参加できていない生徒のフォローアップもお願いしたい。
		②生徒会主催の学校行事に対して「主体的に参加している」と感じている生徒が80%以上である。	・不登校等で学習機会が不足した生徒に対し、登校しやすい環境を整え基礎学力を身に付けさせる。他者を思いやる態度を持たせ、良好な人間関係を構築できる社会性を身に付けさせる。	B	A	A		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④生徒の実態を踏まえた学習指導で、生徒の95%以上が満足している。	・生徒の習熟度や実情に応じた指導を心がけ、基礎学力向上を基本として学び直しや振り返りを行い、学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。	B	A	B	学習指導に満足していると答えた生徒は第1回93%から第2回83%に減少した。今年度は、個別指導を優先し、常に自前の生徒に合わせた教材を作成した。次年度は、基礎学力を土台として、段階的な学習目標の達成で意欲の向上を図り、満足度を図りたい。	④の数値目標が95%なのは高すぎる気がするが、90%の高満足ならば十分だと評価する。⑤の具体的な数値項目の「説明する機会がある」ではなくて「授業に参加している」に変更しても良いのではないかと。⑥の「学力」という重要な項目が22%から66%と著しく減少していることから原因の究明と対策に取り組んで欲しい。⑦は簡単な小テストで小さな成功を積み重ねていけば達成感や満足度も多少良くなるのではないかと。今後は、生徒の実態を踏まえて、分かりやすい授業の実践継続をお願いしたい。
		⑤授業中、説明する機会があると感じている生徒が80%以上である。	・教員相互の授業参観、授業研究を通して資質向上をめざすとともに、生徒中心の授業展開工夫などを実践し、授業改善を行う。	B	B	B		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥進路目標に応じた学力を身に付けたと自己評価している生徒が80%以上である。	・主体的、対話的な学習活動を実践し、社会との関わりの中で生徒が学ぶ意義を実感できる授業展開を実践する。	B	C	C	進路目標に向けて授業に取り組んでいると答えた生徒は第1回82%から第2回66%に減少した。次年度は、教材の工夫により、社会への興味・関心を高め、生徒の社会意識の向上を図りたい。	⑨は具体的な数値目標が70%になっているので、実績76%なので自己評価はAである。⑩は移動手段が多様で安全への感覚が個人で異なることから、100%の目標を立てるなら安全な登下校の最低基準を設ける必要がある。例えば、車なら一時停止や速度、信号機遵守、飲酒運転やスマホ等々見禁止など、自転車なら前述に加えヘルメットの着用などの最低限のルールを策定し、生徒に示すと良い。⑪の27%の大幅な減少は十分に検証する必要がある。今後は、生徒同士の絆づくりに期待したい。
		⑦学習に対する達成感や満足感を持っている生徒が90%以上である。	・3分野の基礎学力テストに対して目標を持たせ、その達成に向けた学習意欲を喚起する。	B	B	B		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧全生徒に関する情報交換を月2回実施している。	・全職員参加の生徒情報交換会で生徒情報を共有し、生徒への対応、指導方法について全職員で共通認識を持つ。また情報交換会以外でも日頃から情報共有を促す。	A	A	A	生徒情報交換会は毎月2回実施した。今年度は教職員が面談等を通じて生徒の情報把握に努め、全教職員で全生徒の情報共有できた。次年度もこの体制を維持していきたい。また、悩みが相談できる先生がいると答えた生徒は第1回78%から第2回76%に減少した。次年度は問題を抱える生徒に対して、個々の背景や人間関係にも注視し、きめ細かい支援を行い、	⑨は具体的な数値目標が70%になっているので、実績76%なので自己評価はAである。⑩は移動手段が多様で安全への感覚が個人で異なることから、100%の目標を立てるなら安全な登下校の最低基準を設ける必要がある。例えば、車なら一時停止や速度、信号機遵守、飲酒運転やスマホ等々見禁止など、自転車なら前述に加えヘルメットの着用などの最低限のルールを策定し、生徒に示すと良い。⑪の27%の大幅な減少は十分に検証する必要がある。今後は、生徒同士の絆づくりに期待したい。
		⑨悩みを相談できる先生がいると感じている生徒が70%以上である。	・下校時刻が遅いため、安全に帰宅するよう年間を通して生徒へ注意喚起する。 ・原付、自動車通学者はルールを確認した上で許可証を発行し、法令遵守、安全運転での登下校を指導する。 ・生徒全員が学生会行事や部活動に積極的に参加できる環境を整え、主体性の育成とともに、良好な人間関係を構築できるよう指導している。	B	A	A		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑩他の通学者への配慮も含めて安全な登下校を心がけている生徒が100%である。	・安全な登下校を心がけていると答えた生徒は第1回78%から第2回76%に減少した。次年度は生徒の安全意識の向上を図り、自転車通学者のヘルメット着用率を上げていきたい。	C	B	C	安全な登下校を心がけていると答えた生徒は第1回78%から第2回76%に減少した。次年度は生徒の安全意識の向上を図り、自転車通学者のヘルメット着用率を上げていきたい。	⑫のいじめについて全教職員が観察している努力に敬意を表す。⑬欠席が多い生徒、規則正しい生活ができない生徒がそれぞれ全体の1/3いることから、面談による実態把握と保健師などによる指導が望ましい。今後は、いじめ防止対策の一層の充実をお願いしたい。
		⑪「生徒会活動や部活動が充実している」と評価している生徒が90%以上である。	・日頃から生徒の様子を全職員で観察し、生徒情報を共有した上で適切に対応し、いじめの防止、早期発見につとめる。また、定期的に対応していることと認識している生徒が100%である。	C	B	B		
VI 教育デジタル化に努めていますか。	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑭欠席状況が2日未満である生徒の割合が80%以上である。	・家庭との連絡を密に取り協力を求めるとともに、個に応じた教育相談を実践し、学校中心の生活を指導していく。	C	C	C	1・2学期合計欠席状況が2日未満の生徒は68%であった。規則正しい生活を送っていると答えた生徒は第1回71%から第2回66%に減少した。次年度も基本的な生活習慣確立のため、家庭との連携を密に取り協力を求めるとともに、学校中心の生活を指導していく。	⑭の「適宜」は必要に応じてという意味であるので、発行して欲しかった。⑮のきっかけになる可能性があるため、簡単なものでも良いから、発行して欲しい。それが、生徒自ら進路情報を得ようとする後押しにもなるはずである。⑯の現在の定時制の現状は昔のイメージの仕事をしながら卒業したいというものではないと聞いているので、アルバイトの就業率は80%程度でも良いのではないかと。今後は、担任面談などの個人指導の充実を期待したい。
		⑮交友関係がうまくいっていると感じている生徒が80%以上である。	・学校行事や部活動の主体的な活動の中で、生徒間の活発な交流を図る。	B	B	B		
VII 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑯進路に関する情報を自ら得ようと努めている生徒が80%以上である。	・キャリア教育セミナーの充実を図るとともに、生徒の多様な進路やニーズに対応できるよう情報の収集と提供を行う。	B	B	B	自ら進路情報を得ようと努めていると答えた生徒は第1回72%から第2回62%に減少した。次年度も進路を具体的に捉えられるように、個別面談を繰り返し、1年次より卒業後の進路について理解させたい。	⑯の「適宜」は必要に応じてという意味であるので、発行して欲しかった。⑮のきっかけになる可能性があるため、簡単なものでも良いから、発行して欲しい。それが、生徒自ら進路情報を得ようとする後押しにもなるはずである。⑯の現在の定時制の現状は昔のイメージの仕事をしながら卒業したいというものではないと聞いているので、アルバイトの就業率は80%程度でも良いのではないかと。今後は、担任面談などの個人指導の充実を期待したい。
		⑰キャリア教育に関わる情報を学期に2回以上発信している。	・『進路通信』を適宜発行する。 ・担任との面談を通して、自分の将来について考える機会を増やす。	B	C	C		
VIII 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰自分の適性を理解して、進路実現に向けて取り組んでいる生徒が90%以上である。	・年2回進路希望調査を実施し、担任を中心とした面談の中で自らの職業適性を見たい。 ・オープンキャンパス等に積極的に参加させることで、希望に合った進路選択につなげる。	B	B	B	進路実現に向けて取り組んでいると答えた生徒は第1回82%から第2回83%と増加した。次年度も学校生活が進路実現につながることを意識させ、主体的な行動を促していく。	⑯の「適宜」は必要に応じてという意味であるので、発行して欲しかった。⑮のきっかけになる可能性があるため、簡単なものでも良いから、発行して欲しい。それが、生徒自ら進路情報を得ようとする後押しにもなるはずである。⑯の現在の定時制の現状は昔のイメージの仕事をしながら卒業したいというものではないと聞いているので、アルバイトの就業率は80%程度でも良いのではないかと。今後は、担任面談などの個人指導の充実を期待したい。
		⑱アルバイトを含め就業している生徒が90%以上である。	・学校休業時間までの有効活用と生活習慣の確立、さらに社会経験を積ませるといった観点から就業を積極的に勧める。また、就業先での悩みなどを気軽に教員に相談できる体制を整える。	B	C	C		
IX 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲定時制課程の教育活動を理解してもらうために「学校見学」を随時受け付ける。	・11月以降、入学説明会を兼ねた「学校見学」を随時受け入れる。1人あたり60分を目安に丁寧に説明する。	C	C	C	学校説明会は11月21日(金)・1月16日(金)の2回実施する。それとは別に11月に1名の学校見学者を受け入れた。	⑲学校説明会の参加人数増加のためには、定時制を希望する生徒がどこに存在するのかわかっていけば効果的な周知ができるはずである。周知方法や掲載場所を改めて検討するべきだ。⑳のインターネットからの情報発信はこれまで以上に、最新の情報掲載をお願いしたい。
		⑳学校新聞を学期に1回以上発行し、かつWEBページを月に1回以上更新している。	・学校行事等で個人情報に注意をはらいながら、写真や映像を記録として残し、WEBページの更新や学校新聞の素材として活用する。	B	C	C		
X 開かれた学校づくりに努めていますか。	1 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉑ICT機器を使った授業が80%以上である。	・ICTを積極的に取り入れることで、授業への関心を高める。また、教員相互でICT活用について情報交換、技術提供を促進し、生徒の理解、意欲向上につながる教材づくりにつなげる。	B	C	C	ICT機器を活用し授業を行っている教職員は71%である。次年度はICT機器を活用して「個別最適な学び」が実践できるように、教材研究に励み研修制度を構築したい。	㉑教職員の目標は達成するべきである。今後の努力に期待したい。㉒の紙面資料は週1回以内ではなく、会議の種別に応じてペーパーレス会議にするなどの工夫が必要である。職員会議は画面を使ってペーパーレス化しないと、紙面資料は減らない。
		1 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉒資料はデジタルデータで共有化し、職員会議や打合せの紙面資料の配付は週1回以内に行っている。	・会議、打合せはkinakoを活用することで連絡、資料の共有を図る。 ・ペーパーレス化を推進し、紙面資料の配付は必要最小限に抑える。	A	B		